

住吉・和合地区社協だより

各戸配布

令和3年3月31日発行

住吉・和合地区
社会福祉協議会



前夜からの準備



ソーシャル・ディスタンス 2m×3m



杉浦会長の挨拶



参加者の製作のようす



歳末福祉事業 ミニ門松作り

日時：令和2年12月19日

場所：城北小学校体育館

参加者数：105名



小里啓子・松本康夫 市議の方々



立派に出来ました



元気体操（住吉会館）



やわらぎの会（住吉会館）（ミニ門松作り）



住吉地区

サロン活



やわらぎの会（住吉会館）（布草履作り）



作品在住吉文化展へ出品



やわらぎの会（住吉会館）（ミニ門松作り）

子育て広場・年中行事を楽しむ・地域を語る・身近な話題を話し合う・知恵を出し合う・歌を楽しむ・グランドゴルフ・元気体操・やわらぎの会など、沢山の会が活動しています。

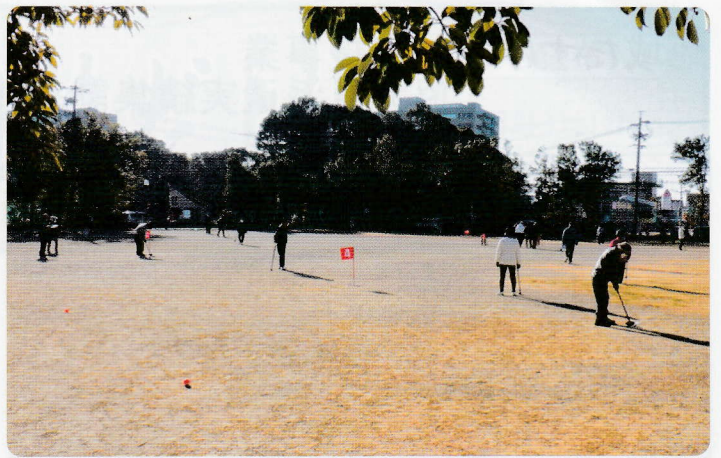
核家族化が進み、地域でのつながり、絆が薄れ、高齢者にとっては、孤立感を抱く環境の変化。健康上では、認知症、筋力低下などの予防にも、子育てにおいても、保護者の悩み事を、少しでもサポート出来たならばと思っています。

青空の下でのゴルフ、聖隷理学療法士さんに依る元気体操も、健康保持、ほかのサロンもそれぞれ、住み慣れた地域で、誰もが安心、健康、幸せに暮らせるように絆を深めています。

皆さん、参加すれば楽しいひと時を過ごすことが出来、行き会いお話ししましょう。

★★★★これからの予定です★★★★

令和3年度 社協の総会 令和3年5月15日(土) 場所：高台協働センター
令和3年度 夏まつり 令和3年7月10日(土)・11日(日)(予定)



グランドゴルフ同好会（和地山公園）

動

和合地区



地域を語る会（高台協センター）

住み慣れた今の地域で、誰もが「安心して」「健康で」「幸せ」に暮らし続けるために、地域の人が集い、意見交換し、気軽に頼り合える絆を構築する。

●地域を語る会 活動回数(年間) 4回 参加人数(延べ人数)44名

- ①令和2年10月9日 講演会、太田雅壽「情報伝達技術(ICT)と地域の結束で、認知症の行方不明者を救うことができるのか」
- ②令和2年10月30日 講演会、太田雅壽「おひとりさまの『もしも』に備える孤立の回避法」と「社会学者が語る(おひとりさま)のススメ」
- ③令和3年1月22日 講演会、太田雅壽「コロナウイルスから身を守るために何が必要か」
- ④令和3年2月12日 講演会、太田雅壽「コロナウイルスから身を守るために何が必要か その2」

●身近な話題を話し合う広場 活動回数(年間) 4回 参加人数(延べ人数)39名

- ①令和2年4月17日 「コロナウイルスを正しく理解して感染防止」
- ②令和2年6月19日 「太陽コロナにちなんで社名にし、石油コンロ、石油ストーブ、給湯器などを製造販売している(株)コロナが、社員を守るために新聞広告を出さなければならない知的事情」
- ③令和2年8月21日 「買い占め騒ぎが起こる学校教育の致命的欠陥」
- ④令和2年10月16日 「日本学術会議とは」

●歌を楽しむ広場 活動回数(年間) 4回 参加人数(延べ人数)42名

- ①令和2年11月13日 皆で同じ曲を歌い、気兼ねなく声を出し、楽しむ。
- ②令和2年12月25日 皆で同じ曲を歌い、気兼ねなく声を出し、楽しむ。
- ③令和3年1月15日 皆で同じ曲を歌い、気兼ねなく声を出し、楽しむ。
- ④令和3年2月5日 皆で同じ曲を歌い、気兼ねなく声を出し、楽しむ。



●知恵を出し合う広場 活動回数(年間) 4回 参加人数(延べ人数)40名

- ①令和2年5月15日 「日本人の性格の特徴を参考に、自らの個性を知ろう」
- ②令和2年7月17日 「地域の河川の起点と終点および静岡県地震活動の特徴を知って防災に活かそう」
- ③令和2年9月18日 「地域社会を再生させるための2つの劇薬「余裕」と「利害」が隣人への関心と呼び戻す」
- ④令和2年11月20日 「日本からの新型コロナ後遺症の報告約2割が発症約1～4ヶ月後に脱毛の症状も」

●年中行事を楽しむ会 活動回数(年間)67回 参加人数(延べ人数)132名

- ①令和2年4月4日 草取り、水やり
- ②令和2年4月7日 クリスマスローズの苗植え
- ③令和2年4月22日 草取り、水やり
- ④令和2年4月24日 クリスマスローズ・花桃の水やり 以下・・・



地域たすけあい支援事業 協力員派遣実績集計表

月	派遣件数	延派遣人数	備 考
3	7	9	ゴミ出し
4	4	4	ゴミ出し
5	5	7	庭の植込み草の除去 洋裁、火報修理
6	4	6	ゴミ出し、木々の伐採 洋裁
7	2	2	蜂の巣の駆除 他
8	15	25	花壇の水遣り
9	5	7	包丁研ぎ
10	2	4	木々の伐採
11	5	10	木々の伐採 自転車の修理
12	0	0	
1	1	1	
2	2	2	ゴミ出し
合計	52	77	



一年を省みて

会長 杉浦 嬉子

昨年より猛威を振るっている、コロナ禍の中からの総会スタート(小規模)でした。

地域ふれあい夏まつり(流しソーメン)、高台協働センターまつりの参加も中止となりました。行事を企画しても、大勢の人が集まることが出来なく残念でした。

ウォーキング大会は、受付後すぐに出発するなどして、コロナ感染防止における安全に気を使いましたが、健康増進となりました。

年末のミニ門松作りは、三蜜、換気、手の消毒、検温等を行い、会場内はメジャーで計測して、配置などに細心を配り実施し、会員の皆さんには大変喜ばれました。

サロンもコロナ対策をしての活動をして、家事支援は少しずつ増加し、助け合っています。

「お互いに支え合い、生きがいのあるまちづくり」をモットーとしています。



子育て応援広場

場所：高台協働センター1F和室

時間：午前10時～12時

月3回(高台協働センター掲示板掲示)

多くの皆様のご利用をお待ちしています。



世界中で新型コロナウイルス感染拡大のコロナ禍に伴い、事業活動を計画するのに、感染防止策で三密を避け、マスクの着用、手指の消毒という大きな難関が立ちはだかります。

サロン活動、家事支援事業は、感染防止に万全を期し、実施してきました。

歳末事業として、城北小学校体育館で住吉・和合両町の48世帯を対象に、新型コロナウイルス感染防止策を万全にし、ミニ門松作りが行われました。

役員が集まり、竹藪から孟宗竹を伐採し、節のところで切り、カップを作り、オアシスを入れ、その他の部材を揃え、支度するのも楽しかったですよ。

早く新型コロナがインフルエンザ同様の対応となり、普通の生活が送れるように望んでいます。

(記 岡野)